

〈特別セッション〉

金融規制—今次金融危機を受けた新しい視点を中心に—

日本銀行 服部正純

当報告では、国際的な金融規制改革のバックグラウンドを中心に、今次金融危機で観察された現象を紹介しながら説明する。具体的には、まず、今次金融危機は資金調達を預金に依存する金融機関を想定した古典的な銀行危機のイメージとはかけ離れたものであることを説明する。次に、資本市場からの資金調達に依存する金融機関が主要な役割を果たしていたことを示し、そのような金融システムにおけるレバレッジや流動性、システミック・リスクの関係について整理する。そのうえで、昨年 12 月に公表された国際的な金融規制のフレームワークであるバーゼルⅢの主要な項目について、今次金融危機との関連を整理する。また、今次金融危機後にアカデミックな研究者から提示された金融規制に関する幾つかの視点についても簡単に紹介する。